

支援プログラム（5領域のとらえ）

ピアチエーレ・ピアチエーレⅡ



健康・生活

それぞれの健康状態を把握するとともに生活リズムを整えることができるように、ご家族の困りごとも含め一緒に取り組んでいきます。挨拶・身支度はもとより、睡眠、整容面、食事、学習習慣など、それに合わせて取り組んでいきます。

認知・行動

集団での遊びや生活を通して、様々な体験を経て、自分で振り返り次のステップへ向かう力を育みます。物体と数の理解、時間と空間などの概念理解、整理統合のお手伝いをしながら情報処理支援に取り組み、学校生活における学習や宿題、集団での活動の場面に活かしていくようフォローします。

運動・感覚

発達の順番を意識した活動（感覚統合の視点、心身の発達のバランスを捉える視点）を大切にしています。身体を使い切る事で、お友達との共同遊びや、学校生活での挑戦や獲得などの成功体験に繋がれるよう、日常の生活動作も含め意識していく取り組みを行います。



支援方針

子ども達がどんな事が苦手で、どんな事が得意なのか？また、ご家族や支援者が子どもの姿の何に困っていて、何に不安を感じているのか？それそれが「わからない」事を明確にし、可視化し、根拠と目的のはつきりとした取り組みに落とし込んでいきます。そだちでの取り組みは、子どもの状態への理解を深める事と、ご家族や支援者が明確なビジョンをもって子ども達の「そだち」を大切にし、ライフステージを本当の意味で支えられるような関りをつくります。

言語・

コミュニケーション

「ことば」を活用する事の大切さを日々の活動の中で知り、使い、伝わる事を経験し、語彙数や自ら思考する力を向上させられるよう取り組みます。状況や相手に合った言葉や行動の選択、その使い方を習得していきます。

人間関係・社会性

小集団、個別、地域活動、など大人と一緒に失敗を気にせずに楽しめる、やりきれる、褒められる、挑戦できる事を大切にして、活動を行います。遊びの進化やルールの複雑化、場に適した振る舞いや言葉選びなどを丁寧に伝えながら取り組みます。